

各学科の研究業績等（令和3年10月～令和4年9月）

人間科学科哲学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 遠藤寿一：死の多元論の擁護に向けて，岩手医科大学教養教育研究年報，56：37-44. (2021)

人間科学科法学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 廣瀬清英：Student Doctorの法的位置づけ，岩手医科大学教養教育研究年報，56：69-77. (2021)

[著書]

- 1) 廣瀬清英：家族に対するがんの告知，医事法判例百選〔第3版〕（甲斐克則・手嶋豊：編），有斐閣，pp. 62-63. (2022)

[国内学会発表（全国）]

- 1) 廣瀬清英：多職種連携のためのアカデミックリテラシー ～PBLワークショップ「信頼される医療－チーム医療－」（2021年度型），初年次教育学会ホームページ内・ポスターセッション，10月.

人間科学科心理学・行動科学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 相澤文恵，小松 真，内金崎 智，高橋広輝，佐藤洋一：Zoomを用いた多職種連携教育ワークショップの試み，岩手医科大学教養教育研究年報，56：45-54. (2021)
- 2) 藤澤美穂，*高橋智幸，*小黒明日香，*高橋文絵：災害支援者支援における超職種チームの有用性，岩手医科大学教養教育研究年報，56：55-68. (2021)
- 3) *針生江美，*安部康代，*高林健示，*長友敦子，*藤信子，藤澤美穂：東日本大震災等の相互支援グループ－震災から8年3ヶ月後～10年の経過－，集団精神療法，38(1)：67-75. (2022)

[著書]

- 1) 相澤文恵：高江洲義矩監修：保健医療におけるコミュニケーション・行動科学 第2版，医歯薬出版，pp. 113-120. (2022)
- 2) 相澤文恵：医療における行動科学，永代印刷，(2022)

[国内学会発表（大会長講演）]

- 1) 相澤文恵：行動科学の公衆衛生実践への応用，第33回岩手公衆衛生学会学術集会，盛岡，2022年3月，オンライン開催.

[国内学会発表（一般口演）]

- 1) 相澤文恵, 田島克, 内金崎 智, 高橋広輝, 佐藤洋一: WebClassのチャット機能を用いた多職種連携教育ワークショップの試み. 第54回日本医学教育学会・学術大会. 2021年8月. 高崎.
- 2) 藤澤美穂, *小黑明日香, *高橋文絵, 大塚耕太郎: 災害支援者支援における多職種・超職種連携を考える. 第1回日本公認心理師学会学術大会. 2021年12月. Web開催.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和3～6年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究(C)
研究題目「子どもの先天性難聴の遺伝学的検査の意味：親の視点からどう捉えられているか」
研究代表者：山本佳世乃, 研究分担者：福島明宗, 小川有美子, 浦野真理, 相澤文恵
- 2) 令和2～4年度 文部科学省 科学研究費助成事業 若手研究
研究題目「災害支援者支援に関わる心理職のキー・コンピテンシーの解明」
研究代表者：藤澤美穂
- 3) 相澤文恵：日本口腔衛生学会査読委員
- 4) 相澤文恵：岩手医科大学歯学会評議員
- 5) 相澤文恵：岩手公衆衛生学会理事
- 6) 相澤文恵：いわて東北メディカル・メガバンク機構臨床研究・疫学部門副部門長
- 7) 相澤文恵：いわて東北メディカル・メガバンク機構運営委員
- 8) 相澤文恵：行動変容に関する理論, 生活習慣病予防に関する保健指導～歯の健康に関する保健指導～. 令和3年度特定健診・特定保健指導従事者研修会. 2021年10月. 盛岡市.
- 9) 相澤文恵：コミュニケーションの基礎演習. 令和3年度特定健診・特定保健指導従事者研修会. 2021年10月. 盛岡市.
- 10) 相澤文恵：行動科学を用いたストレスマネジメント. 2021年度岩手県産業医研修会. 2021年10月.
- 11) 相澤文恵：ビジネスにおけるストレスマネジメント. 株式会社寛文 幹部セミナー. 2021年12月. 二戸市.
- 12) 藤澤美穂：岩手県復興局「東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会」委員
- 13) 藤澤美穂：岩手県社会福祉協議会「被災者実態調査研究委員会」委員
- 14) 藤澤美穂：日本臨床心理士会「研修企画検討プロジェクトチーム」委員
- 15) 藤澤美穂：岩手県臨床心理士会 理事
- 16) 藤澤美穂：日本集団精神療学会 相互支援委員会委員
- 17) 藤澤美穂：現代行動科学会 理事
- 18) 藤澤美穂：社会福祉法人盛岡いのちの電話 理事
- 19) 藤澤美穂：社会福祉法人盛岡いのちの電話「グループ研修」講師
- 20) 藤澤美穂：大船渡市保健福祉部 グリーフケアサロン事業支援者向け交流会 講話「グリーフへの理解」講師. 2021年10月. 大船渡市.
- 21) 藤澤美穂：一般財団法人 日経研出版 公認心理師現任者講習会 盛岡会場 公認心理師の職責, 保健医療に関係する制度, 保健医療における心理社会的問題及び必要な支援 講師. 2021年11月. 盛岡.
- 22) 藤澤美穂：大日本住友製薬株式会社 クライシス・プランを学ぶ会 第2回 opening remarks, ディスカッション. 2021年11月. Web開催.

- 23) 藤澤美穂：日本臨床心理士会北海道・東北ブロック災害支援合同研修会 道県のこれまでの実践を学び、災害支援の現場に活かす 岩手県報告担当，全体討論．2022年2月．Web開催．
- 24) 藤澤美穂：岩手県社会福祉協議会 令和3年度生活支援相談員等活動研究会 講義① こころの病・不調を抱える方の理解と関わり 講師．2022年2月．Web開催．
- 25) *山本創，*安部康代，*高富栄，*長友敦子，*橋本明宏，*針生江美，*藤信子，藤澤美穂：災害とメンタルヘルスに関する相互支援グループ．日本集団精神療学会第39回学術大会．大会企画ワークショップ．2022年3月．Web開催．
- 26) *荻本快，*藤信子，藤澤美穂，*水野高昌，*榊恵子，*前田潤：日本学術会議会員任命拒否問題を集団精神療法家が考える－第2回 トップダウン型の組織運営について－．日本集団精神療学会第39回学術大会．自主ワークショップ．2022年3月．Web開催．
- 27) 藤澤美穂：専門的知見からの考察，今後の展望 心のケアからの視点．社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 令和3年度東日本大震災被災者実態調査研究報告書．14-15．(2022)

人間科学科体育学分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Kozo Tanno, *Yuki Yonekura, *Nagako Okuda, *Toru Kuribayashi, *En Yabe, Megumi Tsubota-Utsugi, Shinichi Omama, *Toshiyuki Onoda, *Masaki Ohsawa, Kuniaki Ogasawara, Fumitaka Tanaka, Koichi Asahi, Ryo Itabashi, Shigeki Ito, Yasushi Ishigaki, Fumiaki Takahashi, *Makoto Koshiyama, Ryohei Sasaki, Daisuke Fujimaki, Nobuyuki Takanashi, Eri Takusari, Kiyomi Sakata, *Akira Okayama: Association between Milk Intake and Incident Stroke among Japanese Community Dwellers: The Iwate-KENCO Study. *Nutrients* 2021, 13, 3781. <https://doi.org/10.3390/nul3113781>. (2021)
- 2) Yuka Kotozaki, Kozo Tanno, Kiyomi Sakata, Kotaro Otsuka, Ryohei Sasaki, Nobuyuki Takanashi, Mamoru Satoh, Atsushi Shimizu, Makoto Sasaki: Association between Social Isolation and Total Mortality after the Great East Japan Earthquake in Iwate Prefecture: Findings from the TMM CommCohort Study. *Int. J. Environ. Res. Public Health* 2022, 19, 4343. <https://doi.org/10.3390/ijerph19074343>. (2022)

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 佐々木亮平，高橋健，吉田実，谷藤玲二，畠山健：本学学生のコロナ禍における自粛生活前後の身体活動等にかかる変化．岩手医科大学教養教育年報，56：79-103．(2021)

[学術論文（和文・その他）]

- 1) *相馬幸恵，*奥田博子，*川田敦子，佐々木亮平，*鈴木由佳里，*山崎初美：避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討．厚生労働行政推進調査事業費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」令和2年度総括・分担研究報告書：41-48．(2021)
- 2) *尾島俊之，*池田和功，*池田真幸，*菅磨志保，*相馬幸恵，*富尾淳，*原岡智子，*藤内修二，*服部希世子，*高杉友，*赤松友梨，*糸数公，*浦野愛，*大塚理加，*奥田博子，*川田敦子，*齊

藤富美代, 佐々木亮平, *静間健人, *鈴木伸明, *園崎秀治, *武智浩之, *田村太郎, *坪井塑太郎, *中村満寿央, *西本伊津美, *坂東淳, *古川馨子, *松本珠実, *水井良暢, *三村誠二, *山崎初美, *山本千恵, *横山芳子: 保健医療福祉調整本部等におけるマネジメントの進め方2022 (暫定版). 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究班 小冊子: 1-25. (2022)

- 3) *相馬幸恵, *奥田博子, *川田敦子, 佐々木亮平, *鈴木由佳里, *山崎初美: 避難者・在宅者等の情報把握・支援の検討. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」令和3年度総括・分担研究報告書: 123-139. (2022)

[著書]

- 1) 佐々木亮平, *岩室紳也: 東日本大震災の復興からの教訓と提言. みんなで取り組む 災害時の保健・医療・福祉活動 (國井修, 尾島俊之: 編). 南山堂. pp. 300-301. (2022)
- 2) 小山薫, 佐々木亮平: 健康運動科学2022. 橋本印刷. pp. 95. (2022)

[国内学会発表 (全国・招聘講演等)]

- 1) 佐々木亮平: 東日本大震災後の陸前高田市におけるつながり続ける力. 第37回医学情報サービス研究大会 特別講演 (WEB開催). 2022年7月. 矢巾町.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 佐々木亮平, *相馬幸恵, *奥田博子, *尾島俊之: 大規模災害時における在宅等避難者 (災害時要配慮者) の情報把握・支援方法の検討. 第80回日本公衆衛生学会 (WEB開催). 2021年12月. 東京都.
- 2) *相馬幸恵, 佐々木亮平, *奥田博子, *尾島俊之: 避難所支援従事者による情報把握と効果的支援のための避難所日報の検討. 第80回日本公衆衛生学会 (WEB開催). 2021年12月. 東京都.
- 3) 坪田 (宇津木) 恵, 佐々木亮平, 鈴木るり子, 丹野高三, 下田陽樹, 坂田清美: 東日本大震災被災高齢者における不眠に対する感覚機能障害の累積的影響: The RIAS Study. 第80回日本公衆衛生学会 (WEB開催). 2021年12月. 東京都.
- 4) 藤巻大亮, 丹野高三, 下田陽樹, 田鎖愛理, 坪田恵, 高梨信之, 佐々木亮平, 坂田清美: 東日本大震災被災3年後の小児における心理的苦痛とその関連要因: The RIAS Study. 第80回日本公衆衛生学会 (WEB開催). 2021年12月. 東京都.
- 5) 鈴木るり子, 佐々木亮平: 災害公営住宅入居者における「住まい」が「住まい方」に及ぼす影響: The RIAS Study. 第10回日本公衆衛生看護学会 (WEB開催). 2022年1月. 大阪市.

[国内学会発表 (地方関係・一般講演)]

- 1) 佐々木亮平: 久慈地区における地域エンパワーメントによるALS患者の医療的ケア体制の構築, 大学生のSNSによる健康情報の取得態度から考える20代に向けた健康情報の提供の在り方, 「人生会議」普及を目指したトランプ「みんなのカード」の啓発及び販売実績: Facebook 有料広告の利活用, 幼児の栄養摂取状況, 一般演題発表座長. 第33回岩手公衆衛生学会. 2022年3月. 矢巾町.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成30年度～令和4年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)
研究題目「被災の回復期における脆弱の増悪・緩衝要因の解明と、地域特性に特化した予防活動」
研究代表者：坪田恵 研究分担者：佐々木亮平
- 2) 令和元～3年度 厚生労働省 科学研究費 健康安全・危機管理対策総合研究事業
研究題目「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」
研究代表者：尾島俊之 研究班協力者：佐々木亮平
- 3) 令和3～6年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)
研究題目「助産師と協働した児童養護施設のリプロダクティブ・ヘルスケア実施体制の構築と検証」
研究代表者：福島裕子 研究分担者：佐々木亮平
- 4) 令和4～6年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)
研究題目「『みえる被災』『みえない被災』:震災前後で生じた地域資源格差と中長期的健康影響」
研究代表者：坪田恵 研究協力者：佐々木亮平
- 5) 令和4～6年度 厚生労働省 科学研究費 健康安全・危機管理対策総合研究事業
研究題目「災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究」
研究代表者：尾島俊之 研究班協力者：佐々木亮平
- 6) 佐々木亮平：厚生労働省科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和3年度第1回班会議（WEB開催）研究協力者、2021年10月、三条市。
- 7) 佐々木亮平：各地のAIDS文化フォーラムからの応援メッセージ、第11回AIDS文化フォーラム in 京都（WEB開催）報告者、2021年10月、京都市。
- 8) 佐々木亮平：令和3年度第2回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会（WEB開催）副委員長、2021年10月、盛岡市。
- 9) 佐々木亮平：令和3年度第2回陸前高田市はまかだ運動推進会議（WEB開催）アドバイザー、2021年10月、陸前高田市。
- 10) 佐々木亮平：保健体育（実技実習）、令和3年度岩手看護専門学校本科3年生「保健体育」全5回 講師、2021年10～12月、矢巾町・盛岡市。
- 11) 佐々木亮平：盛岡地区広域消防組合消防本部職員採用試験（体力測定）支援、2021年11月、盛岡市。
- 12) 佐々木亮平：令和3年度第5回岩手県循環器病対策推進協議会（書面開催）委員、2021年11月、盛岡市。
- 13) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業令和3年度第2回プロジェクトチーム会議 委員、2021年11月、盛岡市。
- 14) 佐々木亮平：千葉大学大学院 令和3年度災害マネジメント論 第7回 災害時における住民同士の助け合い、支援者間の連携・協働における課題とマネジメント① 講義資料協力、千葉大学大学院看護学研究院 先端実践看護学研究部門 高齢社会実践看護学講座、2021年11月、千葉市。
- 15) 佐々木亮平、*岩室紳也：はまって かだって つながって、令和3年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田第一中学校3年生「思春期はまかだ教室」 講師、2021年11月、陸前高

- 田市.
- 16) 佐々木亮平：令和３年度第３回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー．2021年12月．陸前高田市．
 - 17) 佐々木亮平：日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（C）助産師と協働した児童養護施設のリプロダクティブ・ヘルスケア実施体制の構築と検証 令和３年度第１回班会議（WEB開催）研究分担者．2021年12月．滝沢市．
 - 18) 佐々木亮平：災害発生時の保健活動～東日本大震災から10年，陸前高田市の経験に学ぶ～．令和３年度秋田大学医学部保健学科看護学専攻地域看護管理論（WEB開催）講師．2021年12月．秋田市．
 - 19) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和３年度第２回班会議（WEB開催）研究協力者．2022年１月．三条市．
 - 20) 佐々木亮平：広がるAIDS文化フォーラム 令和３年度AIDS文化フォーラム広域連携会議（WEB開催）運営委員．2022年１月．横浜市．
 - 21) 佐々木亮平：たゆたえども沈まず ～はまってけらいん，かだってけらいんで描く未来図～．令和３年度岩手県立高田高等学校１年生 総合的探求⑤ 医療・保健・福祉を志す高校生に向けての仕事観（WEB開催）講師．2022年２月．陸前高田市．
 - 22) 佐々木亮平：令和３年度第６回岩手県循環器病対策推進協議会（WEB開催）委員．2022年２月．盛岡市．
 - 23) 佐々木亮平：令和３年度第２回岩手県自殺対策推進協議会（書面開催）委員．2022年２月．盛岡市．
 - 24) 佐々木亮平：令和３年度第４回陸前高田市はまかだ運動推進会議（WEB開催）アドバイザー．2022年２月．陸前高田市．
 - 25) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 保健医療福祉調整本部等におけるマネジメントの進め方2022（暫定版）小冊子編集（WEB開催）研究協力者．2022年２月．浜松市．
 - 26) 佐々木亮平，*岩室紳也：はまって かだって つながって．令和３年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田東中学校２年生「思春期はまかだ教室」 講師．2022年３月．陸前高田市．
 - 27) 佐々木亮平：令和３年度特定非営利活動法人日本健康運動指導士会 北海道・東北ブロック会議（WEB開催）ブロック幹事．2022年３月．弘前市．
 - 28) 佐々木亮平：令和３年度第３回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会（WEB開催）副委員長．2022年３月．盛岡市．
 - 29) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 成果報告会（WEB開催）研究協力者．2022年３月．浜松市．
 - 30) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和３年度報告書作成 研究協力者．2022年４月．三条市．
 - 31) 佐々木亮平：災害時の看護活動～東日本大震災から10年，陸前高田市の経験に学ぶ～．令和４

- 年度慶應義塾大学看護医療学部地域看護学分野公衆衛生看護管理展開論 健康危機管理（WEB開催）講師。2022年5月。藤沢市。
- 32) 佐々木亮平：令和4年度第1回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2022年5月。陸前高田市。
- 33) 佐々木亮平：令和4年度第1回日本体力医学会東北地方会幹事会（WEB開催）幹事。2022年6月。弘前市。
- 34) 佐々木亮平：令和4年度岩手県立不来方高等学校2～3年生体育学系スポーツ医・科学講座 全8回 講師・企画調整。2022年5月。矢巾町。
- 35) 佐々木亮平：災害時の運動と心のケア。令和4年度岩手県立不来方高等学校2年生体育学系スポーツ医・科学講座② 講師。2022年6月。矢巾町。
- 36) 佐々木亮平：令和4年度第1回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会（WEB開催）副委員長。2022年6月。盛岡市。
- 37) 佐々木亮平：令和4年度第2回陸前高田市はまかだ運動推進会議（WEB開催）アドバイザー。2022年6月。陸前高田市。
- 38) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業令和4年度第1回プロジェクトチーム会議 委員。2022年6月。盛岡市。
- 39) 佐々木亮平：令和4年度第3回陸前高田市はまかだ運動推進会議（WEB開催）アドバイザー。2022年7月。陸前高田市。
- 40) 佐々木亮平：令和4年度第4回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2022年8月。陸前高田市。
- 41) 佐々木亮平：各地のAIDS文化フォーラムからの応援メッセージ。第29回AIDS文化フォーラム in 横浜（WEB開催）報告者。2022年8月。横浜市。
- 42) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和4年度第1回班会議（WEB開催）研究協力者。2022年9月。三条市。
- 43) 佐々木亮平：令和4年度第5回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2022年9月。陸前高田市。
- 44) 佐々木亮平、*岩室紳也：はまって かだって つながって。令和4年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田東中学校3年生「思春期はまかだ教室」 講師。2022年9月。陸前高田市。
- 45) 佐々木亮平：令和4年度第1回いわて思春期研究会 性教育実態調査ワーキンググループ会議（WEB開催）いわて思春期研究会調査研究委員会 委員。2022年9月。盛岡市。
- 46) 佐々木亮平：令和4年度第1回岩手県健康いわて21プラン推進協議会 委員。2022年9月。盛岡市。
- 47) 佐々木亮平：特定非営利活動法人福祉フォーラム・東北 理事（2011年～）
- 48) 佐々木亮平：陸前高田市はまかだ運動推進アドバイザー（2018年～）
- 49) 佐々木亮平：社会福祉法人大空会 評議員（2020年3月～2024年3月）
- 50) 佐々木亮平：秋田市上北手地区民生委員推薦準備委員会 委員（2022年7月～2025年6月）
- 51) 佐々木亮平：特定非営利活動法人日本健康運動指導士会岩手県支部 支部長（2021年4月～2023年3月）
- 52) 佐々木亮平：特定非営利活動法人日本健康運動指導士会 北海道・東北ブロック幹事（2021年

4月～2022年3月)

- 53) 佐々木亮平：公益財団法人盛岡市スポーツ協会 評議員 (2020年6月～2023年3月)
- 54) 佐々木亮平：岩手県健康いわて21プラン推進協議会 委員 (2022年7月～2024年6月)
- 55) 佐々木亮平：岩手県脳卒中予防県民会議 幹事 (2022年7月～2024年6月)
- 56) 佐々木亮平：日本体力医学会東北地方会 幹事 (2022年8月～2024年7月)
- 57) 佐々木亮平：岩手県自殺対策推進協議会 委員 (2022年8月～2024年7月)
- 58) 佐々木亮平：岩手県循環器病対策推進協議会 委員 (2020年11月～2022年10月)
- 59) 佐々木亮平：特定非営利活動法人きらりんきっず 正会員 (2022年4月～2023年3月)
- 60) 佐々木亮平：公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長 (2021年6月～2023年3月)
- 61) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業プロジェクトチーム 委員 (2022年6月～2023年3月)
- 62) 佐々木亮平：いわて思春期研究会調査研究委員会 委員 (2022年8月～2023年7月)
- 63) 佐々木亮平：岩手公衆衛生学会 理事 (2022年4月～2024年3月)

外国語学科英語分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Hobbs, J.: Necessity is the mother of invention: Facilitating learner interaction in university English courses during the COVID-19 pandemic. Annual Report of Iwate Medical University Center for Liberal Arts and Sciences, 56 : 21-27. (2021)
- 2) Yanagiya, C.: Narrative studies of characters' pain in the novels by Graham Greene. Studies in Literature and Christianity (The Japan Society for Literature and Christianity), vol. 39 : 1-18. (2022)
- 3) Levine-Ogura, J.: Advantages and disadvantages using Flipgrid in a communicative English class in times of COVID-19. Annual Report of Iwate Medical University Center for Liberal Arts and Sciences, 56 : 29-35. (2021)

[国内学会発表 (地方会関係・一般講演)]

- 1) Matsuda, T.: Non-raising approach to Japanese raising-to-object constructions revisited. The 36th Annual Meeting of Sophia University Linguistic Society. July. 2022. Online (via Zoom).

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費など)]

- 1) 令和2～4年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)
研究題目「医療系学生のためのG. グリーン文学の応用研究」
代表者：柳谷千枝子
- 2) ジェイムズ・ホブズ：令和3年度第2回「教育の国際化」に至る講話「イギリス50分の旅—日本在住30年のイギリス人がガイドする」講師。江南義塾高等学校。2021年11月。
- 3) ジェイムズ・ホブズ：令和4年度第1回「教育の国際化」に至る講話「イギリス人から見た日本」講師。江南義塾高等学校。2022年7月。

- 4) ジェイムズ・ホブス：日本医学英語教育学会 評議員
- 5) ジェイムズ・ホブス：全国看護英語教育学会 評議員
- 6) ジェイムズ・ホブス：Journal of Medical English Education 編集委員
- 7) ジェイムズ・ホブス：The Language Teacher 査読者
- 8) ジェイムズ・ホブス：Nursing English Nexus 査読者
- 9) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 副会長
- 10) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語学会学術集会 総括委員長
- 11) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 月刊Newsletter編集長
- 12) ジョナサン・レヴィン小倉：Nursing English Nexus 査読者

情報科学科数学分野

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 江尻正一, *大場宏明, *佐々木敏彦：フーリエ解析によるX線応力測定法の統一化研究. 2022年度非破壊検査総合シンポジウム. 6月. 東京（オンライン）.
- 2) *佐々木敏彦, 江尻正一： $\cos \alpha$ 法の測定原理上の課題について. 2022年度非破壊検査総合シンポジウム. 6月. 東京（オンライン）.
- 3) 江尻正一, *大場宏明, *佐々木敏彦：重回帰分析を用いた $\cos \alpha$ 法の応力決定研究. 第56回X線材料強度に関するシンポジウム. 2022年7月. 京都.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和3～8年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（B）
研究題目「高精度二次元計測デバイリングによるレールの転動接触疲労の予兆解明」
研究代表者：*佐々木敏彦 研究分担者：江尻正一
- 2) 令和3～5年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「特異点を持つ輪郭線および特異点を持つ曲面の輪郭線の幾何学」
研究代表者：長谷川大
- 3) 江尻正一：日本材料学会 X線材料強度部門委員会 委員
- 4) 江尻正一：日本非破壊検査協会 $\cos \alpha$ 法及び二次元検出器によるX線応力測定法研究会 幹事
- 5) 江尻正一：日本非破壊検査協会 $\cos \alpha$ 法方式のX線残留応力法研究会 主査
- 6) 江尻正一：日本非破壊検査協会 学術委員会 委員

情報科学科医用工学分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) *Ikeda, M., *Shida, M., *Shigeta, S., *Nagase, S., Takahashi, F., *Yamagami, W., *Katabuchi, H., *Yaegashi, N., *Aoki, D., *Mikami, M.: The trend and outcome of postsurgical therapy for high-risk early stage cervical cancer with lymph node metastasis in Japan: a report of the

- Japan Society of Gynecologic Oncology (JSGO) guidelines evaluation committee. *Journal of Gynecologic Oncology*. doi: 10.3802/jgo.2021.32.e44. (2021) (第56号への追加分)
- 2) *Tosaka, K., Ishida, M., Tsuji, K., Kanehama, N., Koeda, Y., Ishikawa, Y., Shimoda, Y., Kimura, T., Fusazaki, T., Takahashi, F., Itoh, T., Morino, Y.: Prevalence, clinical characteristics, and impact of active cancer in patients with acute myocardial infarction; data from an all-comer registry. *Journal of Cardiology*, 78(3) : 193-200. doi: 10.1016/j.jcc.2021.04.004. (2021) (第56号への追加分)
 - 3) *Tsuji, K., *Shimada, M., Takahashi, F., *Tokunaga, H., *Deura, I., *Yamaguchi, S., *Nakanishi, T., *Matsuo, K., *Yaegashi, N., *Mikami, M.: Clinical-pathological characteristics of patients with stage IB1-IB2 (FIGO 2018) uterine cervical cancer: a nationwide study in Japan. *International Journal of Clinical Oncology*, 26(8) : 1541-1552. doi: 10.1007/s10147-021-01938-4. (2021) (第56号への追加分)
 - 4) Katagiri, K., Shiga, K., Ikeda, A., Saito, D., Oikawa, S., Tsuchida, K., Miyaguchi, J., Kusaka, T., Tamura, A., Nakayama, M., Izumisawa, M., Yoshida, K., Ogasawara, K., Takahashi, F.: The influence of young age on difficulties in the surgical resection of carotid body tumor. *Cancers*, 13(18) : 4565. doi: 10.3390/cancers13184565. (2021) (第56号への追加分)
 - 5) Ninomiya, R., Yoshizawa, M., Koeda, Y., Ishikawa, Y., Kumagai, A., Ishida, M., Takahashi, F., Fusazaki, T., Tashiro, A., Kin, H., Morino, Y.: Safety and feasibility of retrograde INOUE-BALLOON for balloon aortic valvuloplasty without rapid ventricular pacing during transcatheter aortic valve replacement. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics*. doi: 10.1007/s12928-021-00789-0. (2021) (第56号への追加分)
 - 6) Fujisawa, R., Iwaya, T., Endo, F., *Idogawa, M., Sasaki, N., Hiraki, H., Koizumi, Y., Abe, M., Akiyama, Y., *Masuda, M., Sasaki, A., Takahashi, F., *Sasaki, Y., *Tokino, T., Nishizuka, S.: Early dynamics of circulating tumor DNA predict chemotherapy response for esophageal cancer patients. *Carcinogenesis*, 42(10) : 1239-1249. doi: 10.1093/carcin/bgab088. (2021)
 - 7) Tanno, K., *Yonekura, Y., *Okuda, N., *Kuribayashi, T., Yabe, E., Tsubota-Utsugi, M., *Omama, S., Onoda, T., *Ohsawa, M., Ogasawara, K., Tanaka, F., Asahi, K., Itabashi, R., Ito, S., Ishigaki, Y., Takahashi, F., *Koshiyama, M., Sasaki, R., Fujimaki, D., Takanashi, N., Takusari, E., Sakata, K., *Okayama, A.: Association between milk intake and incident stroke among the Japanese community dwellers: A prospective cohort study from the Iwate-KENCO study. *Nutrients*. doi: 10.3390/nu13113781. (2021)
 - 8) *Nagase, S., *Ohta, T., Takahashi, F., *Yaegashi, N., and Board members of the 2020 Committee on Gynecologic Oncology of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual Report of the Committee on Gynecologic Oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual Patient Report for 2018 and Annual Treatment Report for 2013. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. doi: 10.1111/jog.15134. (2021)
 - 9) Kakisaka, K., Suzuki, Y., Takahashi, F., Takikawa, Y.: Referral system has a diminished difference on the risk for hepatic encephalopathy development among each etiology in patients with acute liver injury. *Hepatology Research*. doi: 10.1111/hepr.13744. (2022)
 - 10) *Onuki, M., *Yamaguchi, S., *Yahata, H., *Kanao, H., *Yokota, H., *Kato, H., *Okadome, M., *Takehara, K., *Kamiura, S., *Ushijima, K., *Fujiwara, H., *Shigeta, S., *Matsumura, N.,

- *Fujiwara, K., *Motohara, T., *Watari, H., *Nakamura, K., *Mandai, M., *Satoh, T., *Ishikawa, M., *Hirashima, Y., *Aoki, Y., *Mori, M., *Aoki, D., Takahashi, F., *Kukimoto, I., *Yoshikawa, H., *Yaegashi, N., *Matsumoto, K.: HPV vaccine effectiveness by age at first vaccination among Japanese females: what age is too late? *Cancer Science*. doi: 10.1111/cas.15270. (2022)
- 11) *Onuki, M., *Yamaguchi, S., *Yahata, H., *Kanao, H., *Yokota, H., *Kato, H., *Okadome, M., *Takehara, K., *Kamiura, S., *Ushijima, K., *Fujiwara, H., *Shigeta, S., *Matsumura, N., *Fujiwara, K., *Motohara, T., *Watari, H., *Nakamura, K., *Mandai, M., *Satoh, T., *Ishikawa, M., *Hirashima, Y., *Aoki, Y., *Mori, M., *Aoki, D., Takahashi, F., *Kukimoto, I., *Yoshikawa, H., *Yaegashi, N., *Matsumoto, K.: Changes in HPV16/18 prevalence among unvaccinated women with cervical intraepithelial neoplasia: assessment of herd effects following the HPV vaccination program. *Vaccines*. doi: 10.3390/vaccines10020188. (2022)
 - 12) *Machida, H., *Matsuo, K., *Kobayashi, Y., *Momomura, M., Takahashi, F., *Tabata, T., *Kondo, E., *Yamagami, W., *Ebina, Y., *Kaneuchi, M., *Nagase, S., *Mikami, M.: Significance of histology and nodal status on the survival of women with early-stage cervical cancer: validation of the 2018 FIGO cervical cancer staging system. *J Gynecol Oncol*, 33(3) : e26. doi: 10.3802/jgo.2022.33.e26. (2022)
 - 13) *Yoshino, K., *Kurita, T., Takahashi, F., *Nagase, S., *Kawana, K., *Kobayashi, H., *Kobayashi, Y., *Soeda, S., *Tabata, T., *Terai, Y., *Tokunaga, H., *Nishi, H., Baba T., *Yokoyama, Y., *Watanabe, Y., *Yamamoto, E., *Yamagami W: Annual Report of the Committee on Gynecologic Oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual Patient Report for 2019 and Annual Treatment Report for 2014. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. doi: 10.1111/jog.15284. (2022)
 - 14) Toya, T., *Shimada, T., *Hamada, K., *Watanabe, K., *Nakamura, J., *Fukushi, D., *Hatta, W., *Shinkai, H., *Ito, H., *Matsushashi, T., *Fujimori, S., *Iwai, W., *Hanabata, N., *Shiroki, T., *Sasaki, Y., *Fujishima, Y., *Tsuji, T., *Yorozu, H., *Yoshimura, T., *Horikawa, Y., *Takahashi, Y., *Takahashi, H., *Kondo, Y., *Fujiwara, T., *Mizugai, H., *Gonai, T., *Tatsuta, T., *Onochi, K., *Kudara, N., *Abe, K., *Ohira, T., *Horikawa, Y., *Ishihata, R., *Hikichi, T., *Satoh, K., Takahashi, F., *Masamune, A., *Iijima, K., *Fukuda, S., Matsumoto, T.: Prediction model of 3 years survival after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in older patients aged ≥ 85 years: a multicenter retrospective cohort study. *Journal of Cancer Research and Clinical Oncology*. doi: 10.1007/s00432-022-04024-y. (2022)
 - 15) *Kukimoto, I., *Onuki, M., *Yamaguchi, S., *Yahata, H., *Kanao, H., *Yokota, H., *Kato, H., *Okadome, M., *Takehara, K., *Kamiura, S., *Ushijima, K., *Fujiwara, H., *Shimada, M., *Matsumura, N., *Fujiwara, K., *Motohara, T., *Watari, H., *Nakamura, K., *Mandai, M., *Satoh, T., *Ishikawa, M., *Hirashima, Y., *Aoki, Y., *Mori, M., *Aoki, D., Takahashi, F., *Yoshikawa, H., *Yaegashi, N., *Matsumoto, K.: Regional Differences in Human Papillomavirus Type 52 Prevalence among Japanese Women with Cervical Intraepithelial Neoplasia. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. doi: 10.1093/jjco/hyac127. (2022)
 - 16) Koizumi, Y., *Ahmad, S., Ikeda, M., Yashima-Abo, A., *Espina, G., Sugimoto, R., Sugai, T., Iwaya, T., Tamura, G., Koeda, K., *Liotta, L., Takahashi, F., Nishizuka, S.: Improved survival by *Helicobacter pylori*-modulated immunity in gastric cancer patients with S-1 adjuvant

- chemotherapy. Journal of the National Cancer Institution, 114 : 1149-1158. doi: 10.1093/jnci/djac085. (2022)
- 17) *Takahashi, N., *Kameoka, Y., *Onizuka, M., *Onishi, Y., Takahashi, F., *Dan, T., *Miyata, T., *Ando, K., *Harigae, H.: Deep molecular response in patients with chronic phase chronic myeloid leukemia treated with the plasminogen activator inhibitor-1 inhibitor TM5614 combined with a tyrosine kinase inhibitor. Cancer Medicine. doi: 10.1002/cam4.5292. (2022)
- 18) *Tamura, A., *Kawashima, M., *Suzuki, J., *Yamane, A., *Inoue, Y., *Fukami, T., *Kitani, M., Takahashi, F.: Impact of lung cancer surgery on comorbid Mycobacterium avium complex lung disease –A case series. Respiratory Medicine Case Reports. doi: 10.1016/j.rmcr.2022.101664. (2022)

[国際学会発表]

- 1) *Saito, R., *Kanamori, M., *Mineharu, Y., *Arakawa, Y., *Chiba, K., *Aihara, Y., *Shibahara, I., *Kumabe, T., *Matsuda, K., *Sonoda, Y., Takahashi, F., *Tominaga, T.: Phase II single-arm, multi-center, Physician-Initiated Clinical Trial of Convection-enhanced Delivery of Nimustine Hydrochloride (ACNU) against Diffuse Intrinsic Pontine Gliomas. ASCO. June 2022. Chicago, USA.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 大澤正樹, 小笠原邦昭, 丹野高三, *小野田敏行, *栗林徹, *米倉佑貴, 旭浩一, 石垣泰, 伊藤薫樹, 高橋史朗, 大間々真一, 板橋亮, 森野禎浩, 伊藤智範, 田中文隆, 坪田恵, 坂田清美, *腰山誠, *岡山明: 人口動態統計死因と研究者による死亡小票の複数死因をもとに判断した死因の検討-第2報. 第32回日本疫学会学術大会. 2022年1月. 東京.
- 2) 田鎖愛理, 下沖収, 田島克己, 高橋史朗: 根拠のある学習支援を目指したIR部門の取り組み. 第54回日本医学教育学会. 2022年8月. 高崎.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和元～3年度 日本医療研究開発機構 生物統計家育成支援事業
研究題目「京都大学大学院における臨床統計家育成のための教育カリキュラムの標準化のための研究開発」
研究代表者：佐藤俊哉 研究協力者：高橋史朗
- 2) 令和元～3年度 日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究題目「思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18 陽性割合の推移に関する長期疫学研究」
研究代表者：松本光司 研究分担者：高橋史朗
- 3) 令和元～3年度 日本医療研究開発機構 臨床研究・治験推進研究事業
研究題目「神経線維腫症Ⅱ型に対するペバシズマブの有効性及び安全性を検討する多施設共同二重盲検無作為化比較治験」
研究代表者：藤井正純 研究分担者：高橋史朗
- 4) 令和元～3年度 日本医療研究開発機構 革新的医療シーズ実用化研究事業

- 研究題目「TP53ステータス遺伝子発現プロファイルによる乳がんの予後予測および治療効果予測法の開発」
研究代表者：石岡千加史 統計解析責任者：高橋史朗
- 5) 令和2～6年度 日本医療研究開発機構 医療研究開発革新基盤創成事業
研究題目「月経前症候群（PMS）に伴う精神症状/月経前不快気分障害（PMDD）を対象としたピリドキサミンの有効性及び安全性を検討する第Ⅱ相医師主導治験」
研究代表者：武田卓 研究分担者：高橋史朗
- 6) 令和2～4年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「介護予防事業の評価における活動量計の活用」
研究代表者：下沖収 研究分担者：高橋史朗
- 7) 令和2～4年度 厚生労働省 科研費 長寿科学政策研究事業
研究題目「介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーション適応等について
の研究」
研究代表者：西村行秀 研究分担者：高橋史朗
- 8) 令和2～3年度 日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進
研究事業
研究題目「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）肺炎患者に対するPAI-1阻害薬TM5614の有効
性および安全性を検討する探索的第Ⅱ相医師主導治験」
研究代表者：張替秀郎 研究分担者：高橋史朗
- 9) 令和3～4年度 日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進
研究事業
研究題目「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）肺炎患者に対するPAI-1阻害薬TM5614の有効
性および安全性を検討する検証的第Ⅱ相医師主導治験」
研究代表者：張替秀郎 研究分担者：高橋史朗
- 10) 令和4～7年度 日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進
研究事業
研究題目「思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割
合の推移に関する疫学研究」
研究代表者：松本光司 研究分担者：高橋史朗
- 11) 令和3～5年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「看護基礎教育における情報セキュリティおよび情報倫理に関する教育方法の構築」
研究代表者：小野保
- 12) 高橋史朗：岩手医学会 査読委員
- 13) 高橋史朗：日本癌治療学会「GIST診療ガイドライン改訂WG」委員
- 14) 高橋史朗：東北大学病院「病院臨床研究倫理委員会」委員
- 15) 高橋史朗：東北大学「認定臨床研究審査委員会」委員
- 16) 高橋史朗：日本がん臨床試験推進機構「プロトコール評価委員会」委員
- 17) 高橋史朗：東北臨床研究審査機構「共同臨床研究審査委員会」委員
- 18) 高橋史朗：日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会 データ小委員会 委員
- 19) 高橋史朗：婦人科腫瘍学会 代議員・査読委員
- 20) 高橋史朗：日本消化器内視鏡学会 査読委員

- 21) 小野保：看護人間工学会 理事，評議員
- 22) 小野保：TOPIC盛岡NOC 幹事
- 23) 小野保：看護人間工学会 小川ゼミ「人に役立つ面白い人間工学と看護人間工学のお話し」（動画コンテンツ）制作協力

物理学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Sato, E., Oda, Y., Yoshida, S., Yamaguchi, S., Yoshioka, K., *Watanabe, M.: X-ray-dose-rate measurement using an ionization diode and a digital voltmeter. Annual Report of Iwate Medical University Center for Liberal Arts and Sciences, 56 : 111-116. (2021)

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 小松真：染色液の封入容器形状が水中放電による脱色に与える影響. 岩手医科大学教養教育研究年報, 56 : 1-6. (2021)
- 2) 相澤文恵, 小松真, 内金崎智, 高橋広輝, 佐藤洋一：Zoomを用いた多職種連携ワークショップの試み. 岩手医科大学教養教育研究年報, 56 : 45-54. (2021)

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 小松真：放電による染色液脱色に対する対向電極距離の影響. 令和4年電気学会全国大会講演論文集, 第3分冊, 3-002, 2022. 2022年3月21日～23日. オンライン開催 WEB 11-C4・電子通信応用・3-002.
- 2) 奥村健一：Analysis of electroweak symmetry breaking in quiver supersymmetric standard model. 日本物理学会2022年年次大会. 2022年3月16日. オンライン開催.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 小田泰行：芸術科学会 東北支部 評議員
- 2) 奥村健一：日本物理学会2022年年次大会Jr.セッション審査委員
- 3) 奥村健一：ILCが目指す素粒子の謎. 第3回ILC技術セミナー 2021年10月18日. 盛岡市.
- 4) 奥村健一：ILCが目指す素粒子の謎. 岩手大学教育学部理科教理科物理教室第10回素粒子・宇宙セミナー 2021年12月8日. 盛岡市.
- 5) 令和3～5年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「ポストLHC時代に向けた超対称性理論の研究」
研究代表者：奥村健一

化学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) *Sofian, F., F., *Warahapsari, A., F., Yoshida, J., *Ito, Y., *Koseki, T., *Shiono, Y.: Two new

octahydronaphthalene derivatives, trichodermic acids C and D produced by *Trichoderma* sp. HN-1. Natural Product Research. Online first. doi: 10.1080/14786419.2021.1983811.

- 2) *Sofian, F., F., *Suzuki, T., *Supratman, U., *Harneti, D., *Maharani, R., *Salam, S., *Abdullah, F., F., Yoshida, J., *Ito, Y., *Koseki, T., *Shiono, Y.: The 2,3-epoxy naphthoquinol produced by endophyte *Arthrimum marii* M-211. Natural Product Research. Online first. doi: 10.1080/14786419.2021.1998899.

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Yoshida, J., *Okawa, Y., *Oyama, T., *Shimoda, S., *Uesugi, S., *Takagi, H., *Ito, Y., *Kimura, K.: Analysis of functional mechanism and target molecules of ricinoleic acid derived from castor oil. 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies. Dec. 2021. Online virtual congress.
- 2) Yoshida, J., *Uesugi, S., *Kawamura, T., *Kimura, K., *Hu, D., *Xia, S., *Toyooka, N., *Ohnishi, M., *Kawashima, K.: Bioactive properties of non-methylene-interrupted dienolic fatty acids in eukaryotic cells. 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies. Dec. 2021. Online virtual congress.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 東尾浩典, 横山拓矢, 齋野朝幸: ライブイメージング技術に立脚した簡便なマスト細胞脱顆粒アッセイ系の構築. 第94回日本生化学会大会. 2021年11月. 横浜.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和1～4年度（延長） 文部科学省 科学研究助成事業 基盤研究（C）
研究題目「マスト細胞の脱顆粒応答は分泌刺激の種類で変化するか？—イメージングによる解析—」
代表者：東尾浩典 研究分担者：横山拓矢, 齋野朝幸
- 2) 令和4～6年度 文部科学省 科学研究助成事業 基盤研究（C）
研究題目「睡眠時無呼吸症候群モデルラット頸動脈小体のグルタミン酸受容体による長期増強機構」
代表者：横山拓矢 研究分担者：東尾浩典, 齋野朝幸
- 3) 令和4～6年度 文部科学省 科学研究助成事業 基盤研究（C）
研究題目「神経関連微量アミンは外分泌細胞の機能を制御するか—神経・外分泌連関の解明」
代表者：齋野朝幸 研究分担者：東尾浩典, 横山拓矢
- 4) 令和3～5年度 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「食材ポリアセチレン化合物による肝細胞エネルギー代謝制御機構の統合的解析」
代表者：吉田潤 研究分担者：木村賢一, 伊藤芳明
- 5) 令和1～3年度 文部科学省 二国間交流事業 共同研究
研究題目「エンドファイトを利用したカメルーンにおけるバナナ病原菌の防除を目指した共同研究」
代表者：塩野義人 日本側共同研究者：俵谷圭太郎, 佐藤智, 吉田潤, ナナン ルディアン ト アリエフタ, 中村智紀, 横山靖洋

- 6) 令和3年度 伊藤製油株式会社 受託研究費
研究題目「有機化合物の細胞賦活作用の解析」
代表者：吉田潤

生物学科

[学術論文（英文・原著）]

a) 原著

- 1) Abe, H., Kan, K.: Phylogenetic position of the enigmatic genus *Atherospio* and description of *Atherospio aestuarii* sp. nov. (Annelida: Spionidae) from Japan. PeerJ, 10: e13909. doi: 10.7717/peerj.13909. (2022)
- 2) *Murai, M., *Henmi, Y., Matsumasa, M., *Backwell, P. R. Y., *Takeshita, F.: Attraction waves of male fiddler crabs: A visual display designed for efficacy. Journal of Experimental Marine Biology and Ecology, 546. (2022) <https://doi.org/10.1016/j.jembe.2021.151665>

[学術論文（和文・原著）]

a) 原著

- 1) *小林元樹, 菅孔太郎, 阿部博和：屋久島におけるタケフシゴカイ科2種の報告. みちのくベントス, 6: 58-63. (2022)
- 2) 阿部博和, 菅孔太郎, 松政正俊, *鈴木孝男, *柁原 宏：岩手県小友浦におけるオグマヒモムシ *Nipponnemertes ogumai* (紐形動物門: 単針目) の北限記録. みちのくベントス, 6: 21-27. (2022)
- 3) *金谷 弦, *鈴木孝男, *多留聖典, 松政正俊, *青木美鈴, *井上 隆：東日本大震災の広域調査データから明らかにする東日本太平洋岸における干潟ベントス群集の特徴と時空間変動. 日本ベントス学会誌, 77 (accepted).

[著書]

- 1) 菅孔太郎：第4章 ハチの干潟とその周辺の動植物 環形動物（トウヨウシロガネゴカイ, シロガネゴカイ属の1種, オミナエシフサゴカイ）. ハチの干潟の生きものたち 広島県竹原市に残る瀬戸内海の内風景（近藤裕介, 大塚 攻, 佐藤正典 編）. NextPublishing Authors Press. pp. 90-103. (2022)

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 阿部博和, 菅孔太郎：国内における *Atherospio* 属未記載種（環形動物門：スピオ科）の報告とその系統的位置. 2022年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2022年9月. オンライン.
- 2) 三枝 聖, *藤田さちこ, *高宮正隆, *青木康博. 法昆虫学的解析における現場写真の有用性. 第106次日本法医学学会学術全国集会. 2022年6月. 名古屋.
- 3) *齋藤 修, *小山田拓郎, *川口祐希, *田中 仁, *小笠原敏記, 松政正俊, *小澤宏樹, *加藤英紀, *大塚哲哉, *星上幸良. 根浜海岸砂浜再生事業における養浜工効果影響解析. 日本沿岸域学会研究討論会－第33回－. 2021年6月. オンライン長崎. (前回分・追加)

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 菅孔太郎：令和2～4年度 独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費
研究題目「海産環形動物絶滅危惧種の特定のための網羅的DNAバーコーディング：希少種の探索，新種記載と分類の整理，および分布情報の集積の促進」に参画.
- 2) 令和4年度 公益財団法人 水産無脊椎動物研究所 個別研究助成
研究題目「マングローブに生息する朽木利用性多毛類の分類学的研究」
研究代表者：菅孔太郎
- 3) 令和3年度 公益財団法人屋久島環境文化財団 令和3年度屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業
研究題目「屋久島における多毛類の多様性調査」
研究代表者：阿部博和 研究分担者：菅孔太郎，*田中正敦，*小林元樹，*自見直人
- 4) 菅孔太郎：岩手県いわてレッドデータブック改訂事業 調査協力者（2021年3月24日～2024年3月31日）
- 5) 三枝 聖. 昆虫から死後経過時間を推定!? 知られざる法昆虫学の世界. 生命科学DOKIDOKI研究室「これから研究の話をしよう」第13回. 公益財団法人テルモ生命科学振興財団Website.
(<https://www.terumozaidan.or.jp/labo/future/13/index.html>) 2021年10月.
- 6) 令和3～5年度. 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「寒暖境界期および寒冷期の死後経過時間推定精度向上に資する法昆虫学的指標の探索」
研究代表者：三枝 聖
- 7) 令和4～7年度. 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「東北の大地震・大津波の後に希少種が増えたのはなぜか？：半陸棲カニ類における解析」
研究代表者：松政正俊
- 8) 令和元～4年度. 文部科学省 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究題目「ライバル雄の妨害がドライブするシオマネキ類の配偶者選択におけるシグナル系の複雑化」
研究分担者：松政正俊（研究代表者：*竹下文雄）
- 9) 松政正俊，菅孔太郎：農林水産技術会議 脱炭素・環境対応プロジェクト 農林水産分野における炭素吸収源対策技術の開発「ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発」に参画.（2020年1月～2024年）
- 10) 松政正俊.（一財）鹿島平和研究所研・地球温暖化を克服する食，生態系・土地利用研究会メンバー（2022年6月～）
- 11) 松政正俊：岩手生態学ネットワーク代表 活動プログラム「人と自然と生態学」の運営（日本生態学会東北地区会から支援）. 2021，2022年度.
- 12) 松政正俊：広田湾マガキ天然採苗試験（岩手県水産技術センター・広田湾漁協米崎・小友支所と共同）（2012年～）.
- 13) 松政正俊：岩手県いわてレッドデータブック改定検討委員会専門部会委員
(2020年1月～改定の完了まで)
- 14) 松政正俊：岩手県立博物館協議会委員
(2021年7月～2023年6月)

- 15) 松政正俊：岩手県根浜海岸復興養浜技術検討委員会委員
(2017年5月～)
- 16) 松政正俊：日本生態学会東北地区会委員
(2020年4月～2022年3月, 2022年4月～2024年3月)
- 17) 松政正俊：日本ベントス学会運営委員
(2021年4月～2023年3月)
- 18) 松政正俊：熊本大学くまもと水循環・減災教育研究センター学外協力研究者
(2016年5月～2022年3月, 2022年4月～2024年3月)
- 19) 松政正俊：*Plankton and Benthos Research* 編集委員.
(2019年4月～2021年3月, 2021年4月～2023年3月)
- 20) 松政正俊：*Scientifica* 編集委員 (Marine Biology).